

# 「持続可能な開発目標 (SDGs = Sustainable Development Goals)」



「持続可能な社会」の実現に向けて企業はどのように取り組んでいるのでしょうか？  
今、「SDGs時代」と言われています。ここでは、<全国ユース環境ネットワーク>の  
協賛企業・キリン株式会社のSDGsへの取り組みをご紹介します。  
掲載内容は一例ですが、みなさんのこれからの活動の参考になるのではないのでしょうか。

参考事例

## 『持続可能な社会』の実現を目指すキリン株式会社の取り組み

詳しくは、  
キリン株式会社の  
HPをご覧ください。

# KIRIN キリン株式会社 (キリンホールディングス)

## 私たちのCSVコミットメント

私たちは、社会と共に持続的に成長していくため、長期経営構想「新・キリン・グループ・ビジョン2021」において、CSVを経営の根幹に位置付けています。このたび重点的に取り組む社会課題として「健康」「地域社会への貢献」「環境」及び酒類を扱う企業グループの前提として「酒類メーカーとしての責任」を選定しました。それらの社会課題について、「持続可能な開発目標」(SDGs)等を参照しながら、事業を通じて中長期的に目指す姿を明らかにする16のコミットメントを策定しました。また、コミットメントの達成に向けた具体的なアプローチ及び成果指標を定めました。私たちは、グループ一丸でこのコミットメントに取り組むことにより、お客様の幸せな未来に貢献することを目指します。

～環境活動の事業戦略への反映～ (16のコミットメントの中の一例)

### SDGsの目標とキリンのコミットメント



**<SDGs13 気候変動に具体的な対策を>**  
再生可能エネルギーの導入をはじめとした更なる温室効果ガス (GHG) 排出量削減の取り組みを進めます。



**<SDGs15 陸の豊かさを守ろう>**  
原料生産地と事業地域における自然環境を守り、生態系を保全します。



**<SDGs6 安全な水とトイレを世界中に>**  
生産活動における水使用量を削減するとともに、水源地の保全活動を継続的に進めます。



**<SDGs12 つくる責任つかう責任>**  
容器包装の軽量化を継続するとともに、材料の非再生資源依存を低減し、持続性を高めます。

## 容器包装材料の持続性向上を目指し

# 2020年までに紙容器すべてを FSC® 認証紙へ

キリングroupは長期環境ビジョンのテーマである「容器包装」について、「持続可能な容器を使用します」という目標を掲げ取り組みを進めてきました。2017年2月には、すべての紙容器でFSC認証紙採用を目指すという「行動計画」を発表し、材料そのものの持続性向上にも取り組みを加速させています。



すべての紙容器で  
FSC 認証紙採用へ

FSC認証は、森林の環境保全に配慮し、森林のある地域社会の利益にかなない、経済的にも持続可能な形で生産された木材や紙に与えられるもの。キリングroupは、2020年までに、すべての紙容器でFSC認証紙への切り替えを目指すことを明らかにしました。

FSC 認証紙を使用した  
「トロピカーナ 100%  
まるごと果実感」シリーズ  
900ml 紙容器



飲料6缶パックも  
FSC 認証紙が進展  
(写真は缶コーヒー  
「キリン ファイア」)

